

ウシオ電機株式会社

2011年3月期 決算説明会

USHIO

Lighting—Edge Technologies

■ 通期業績概要 2011年3月期

	2009年度	2010年度		2011年度			
	2010年3月期	2011年3月期	対前期比 増減額	対前期比 増減率	2012年3月期 業績予想	対前期比 増減額	対前期比 増減率
売上高	1,190	1,451	260	21.9%	1,750	+298	+20.6%
営業利益	72	140	67	93.2%	165	+24	+17.6%
経常利益	92	173	80	86.9%	190	+16	+9.4%
当期利益	70	95	25	35.4%	120	+24	+25.3%
売上高営業利益率	6.1%	9.7%		3.6P	9.4%		0.2P
売上高経常利益率	7.8%	12.0%		4.2P	10.9%		1.1P
売上高当期利益率	5.9%	6.6%		0.7P	6.9%		+0.3P
EPS	52.95円	71.72円			89.86円		
ROE	4.7%	6.2%			7.4%		
配当	20円	22円			24円		
配当性向	37.8%	30.7%			26.7%		
為替レート（期中平均）							
ドル	92.61円	85.22円			85円		
ユーロ	130.68円	112.61円			110円		

（億円）

* 為替感応度（ドル/円）

売上13億円、営業利益2億円、経常利益3億円

当資料の金額表記は、億円単位未満を切り捨てております。

四半期業績推移

2011年3月期

(億円)

2011年3月期

1Q

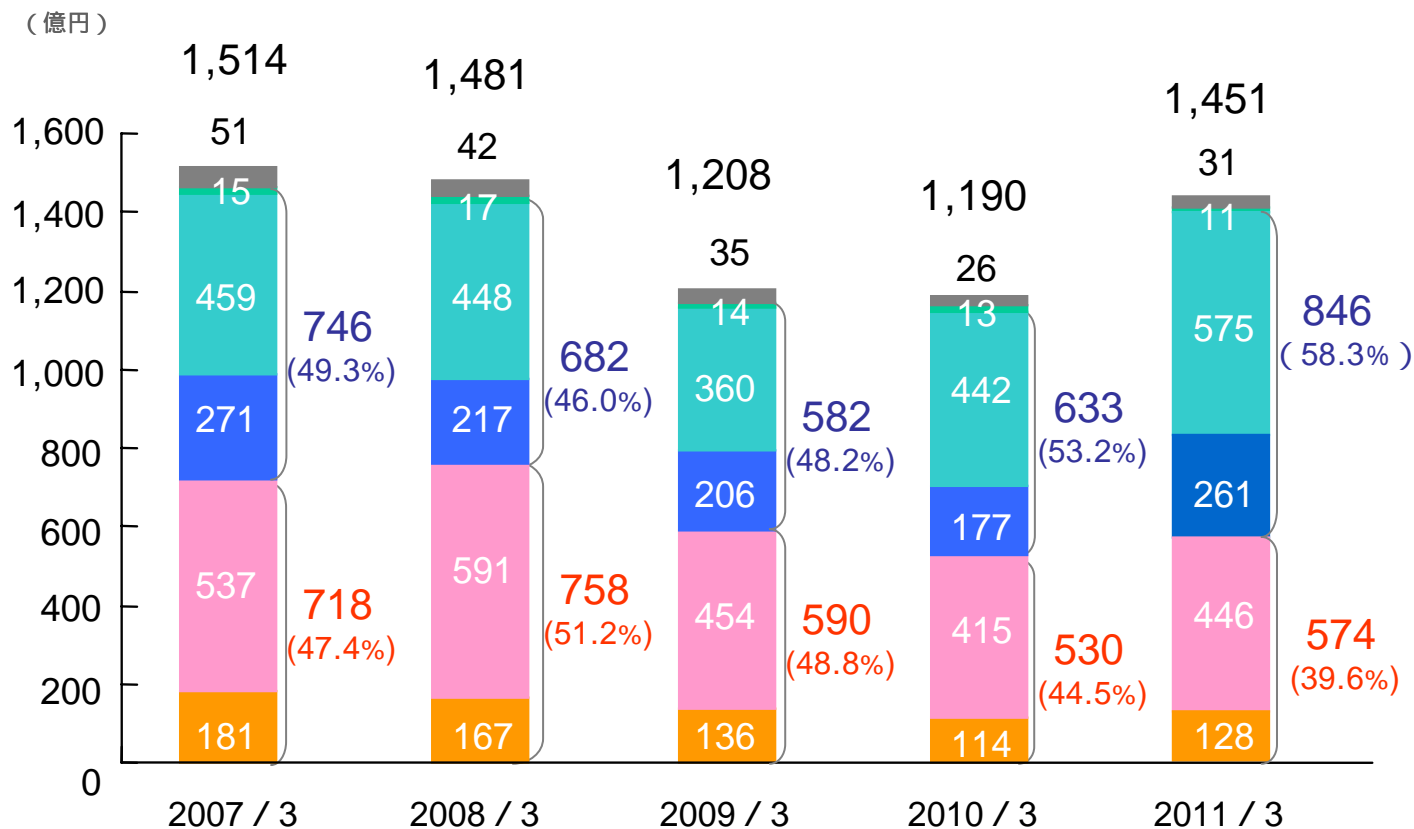
2Q

3Q

4Q

売上高	341	363	367	379
営業利益	39	38	30	31
経常利益	37	46	42	46
当期利益	26	30	27	10
売上高営業利益率	11.6%	10.7%	8.2%	8.4%
売上高経常利益率	10.9%	12.9%	11.6%	12.4%
売上高当期利益率	7.9%	8.5%	7.5%	2.7%
事業別営業利益率				
光源事業	15.8%	18.0%	11.5%	13.1%
装置事業	8.3%	5.9%	6.1%	5.5%

製品別売上推移



光源事業

放電灯

ハロゲン

装置事業

映像機器

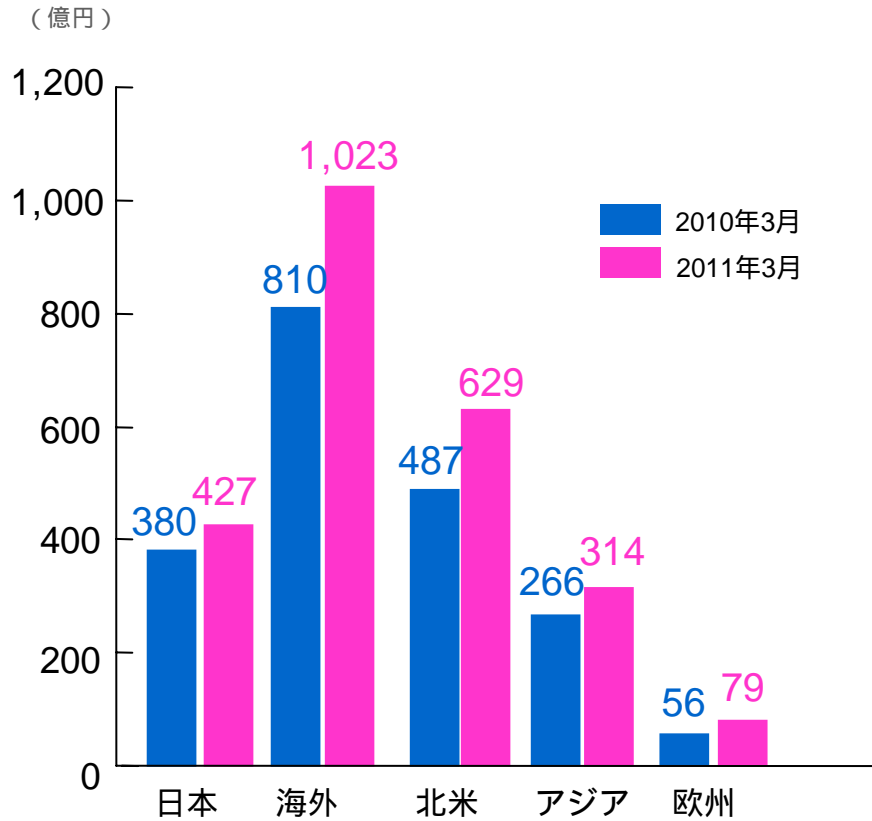
光学装置

産業機械・その他

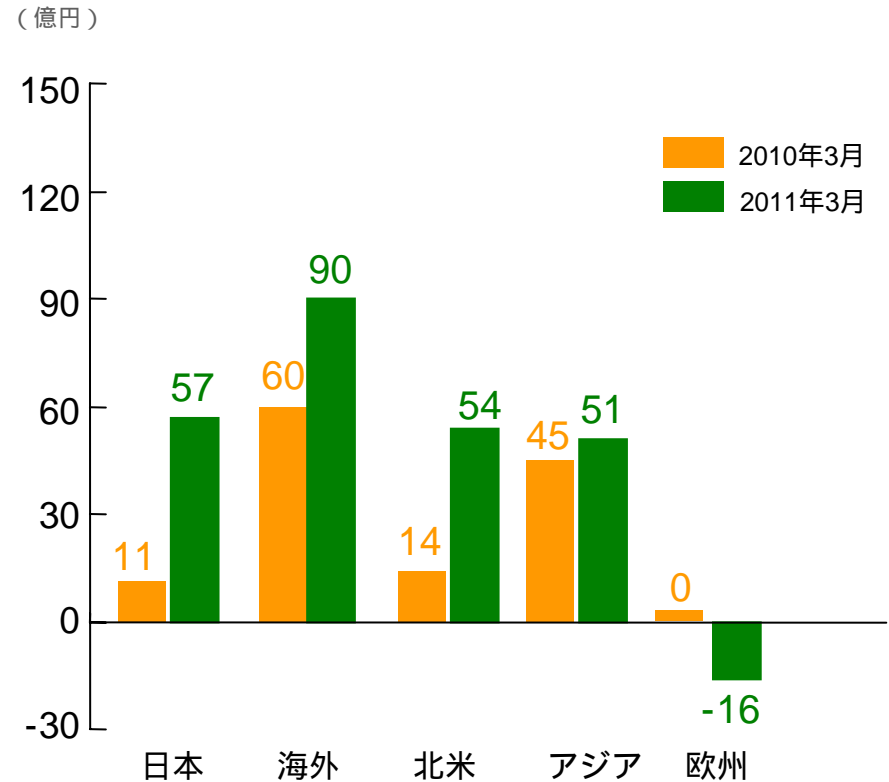
照明装置他

地域別損益状況

売上高



営業利益



営業外収支

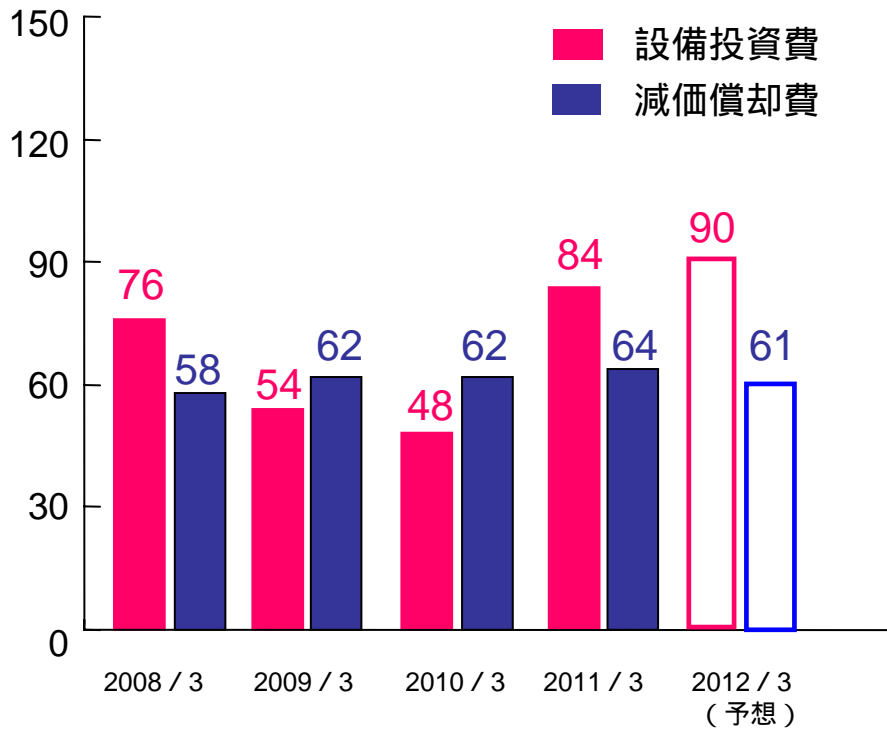
(億円)

	2010年3月	2011年3月	差異
営業外収益	27	45	+17
受取利息	4	2	1
受取配当金	7	8	+0
投資有価証券売却益	0	12	+12
持分法による投資利益	0	15	+15
売買目的有価証券運用益	6	-	6
その他	7	5	2
営業外費用	7	11	+4
支払利息	2	2	0
投資事業組合運用損	0	1	+0
特定金銭信託運用損	-	1	+1
為替差損	1	4	+2
その他	2	2	0
営業外収支	20	33	+13

設備投資額・減価償却費・研究開発費

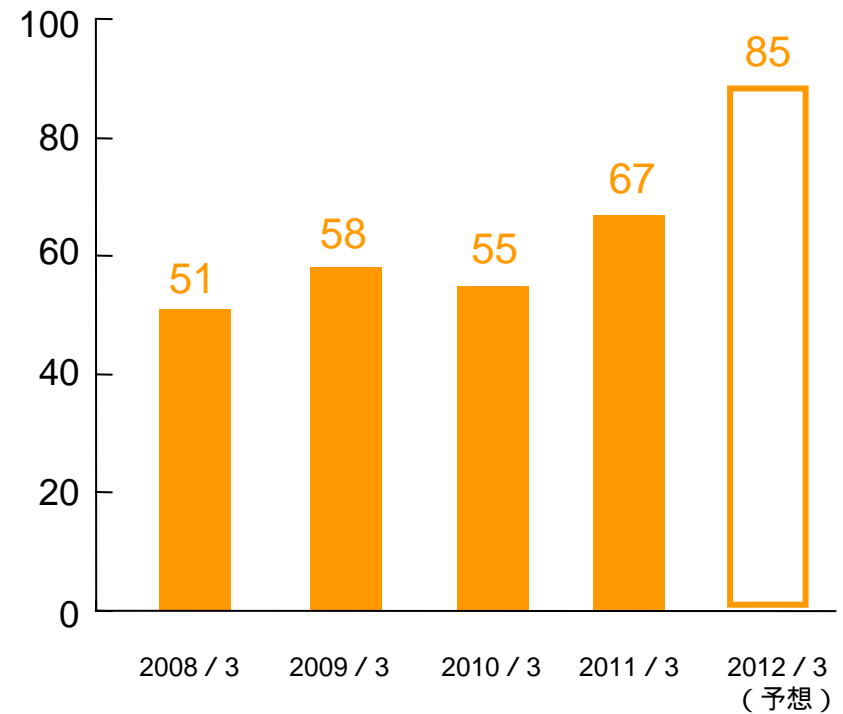
■ 設備投資額・減価償却費

(億円)

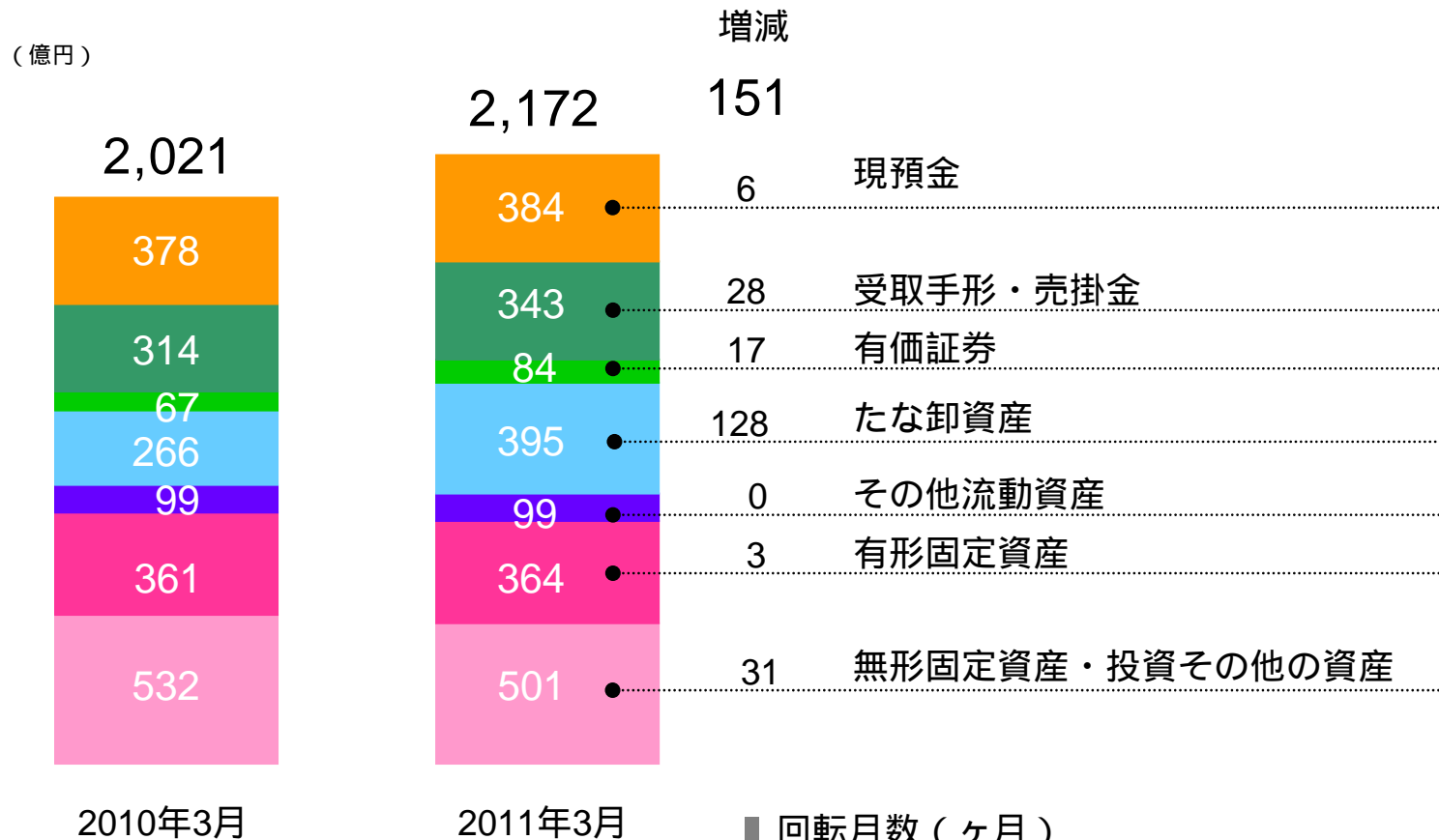


■ 研究開発費

(億円)



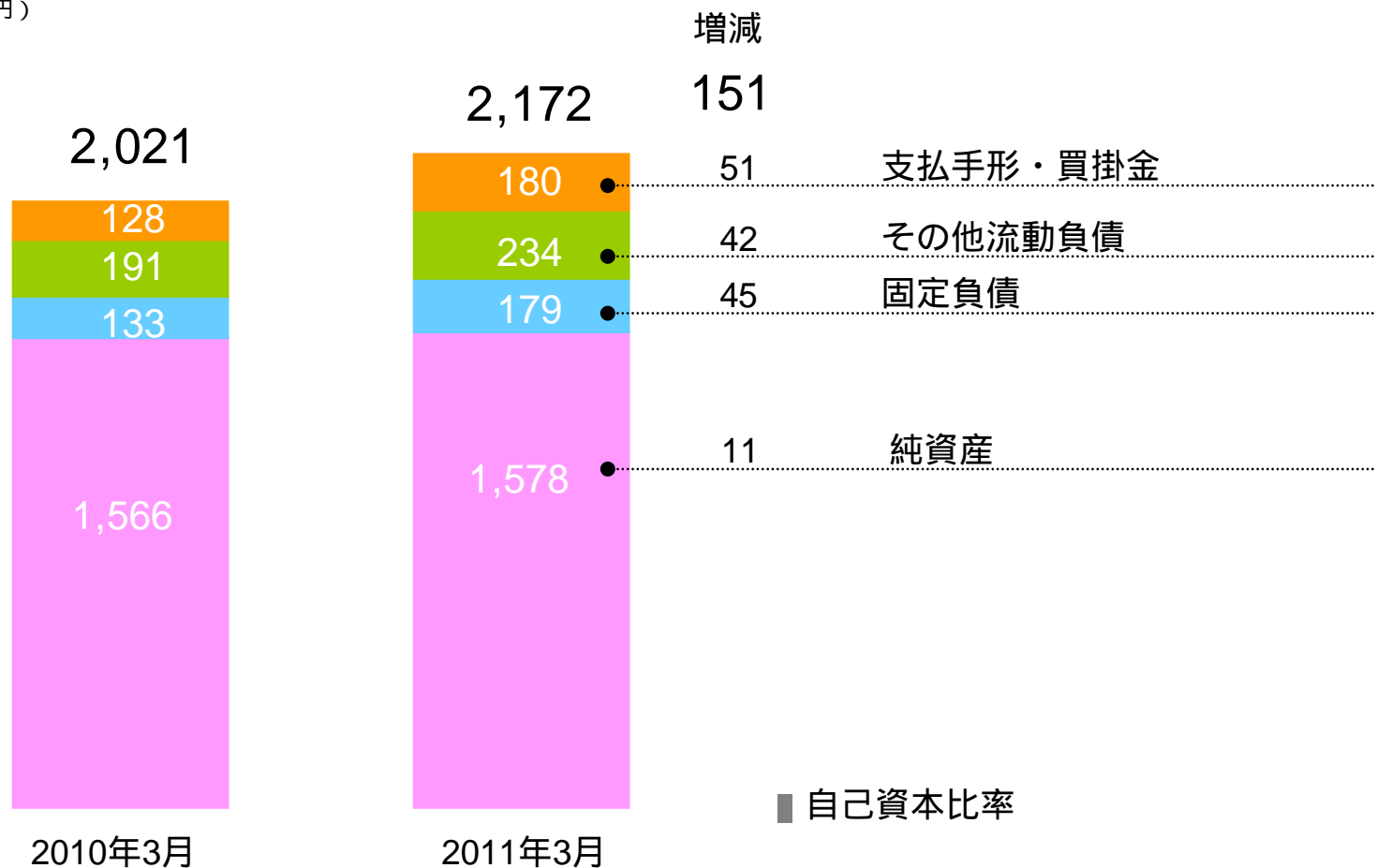
資産



■ 回転月数 (ヶ月)	2010 / 3	2011 / 3
	売上債権	3.0
たな卸資産	2.8	2.7

負債・純資産

(億円)

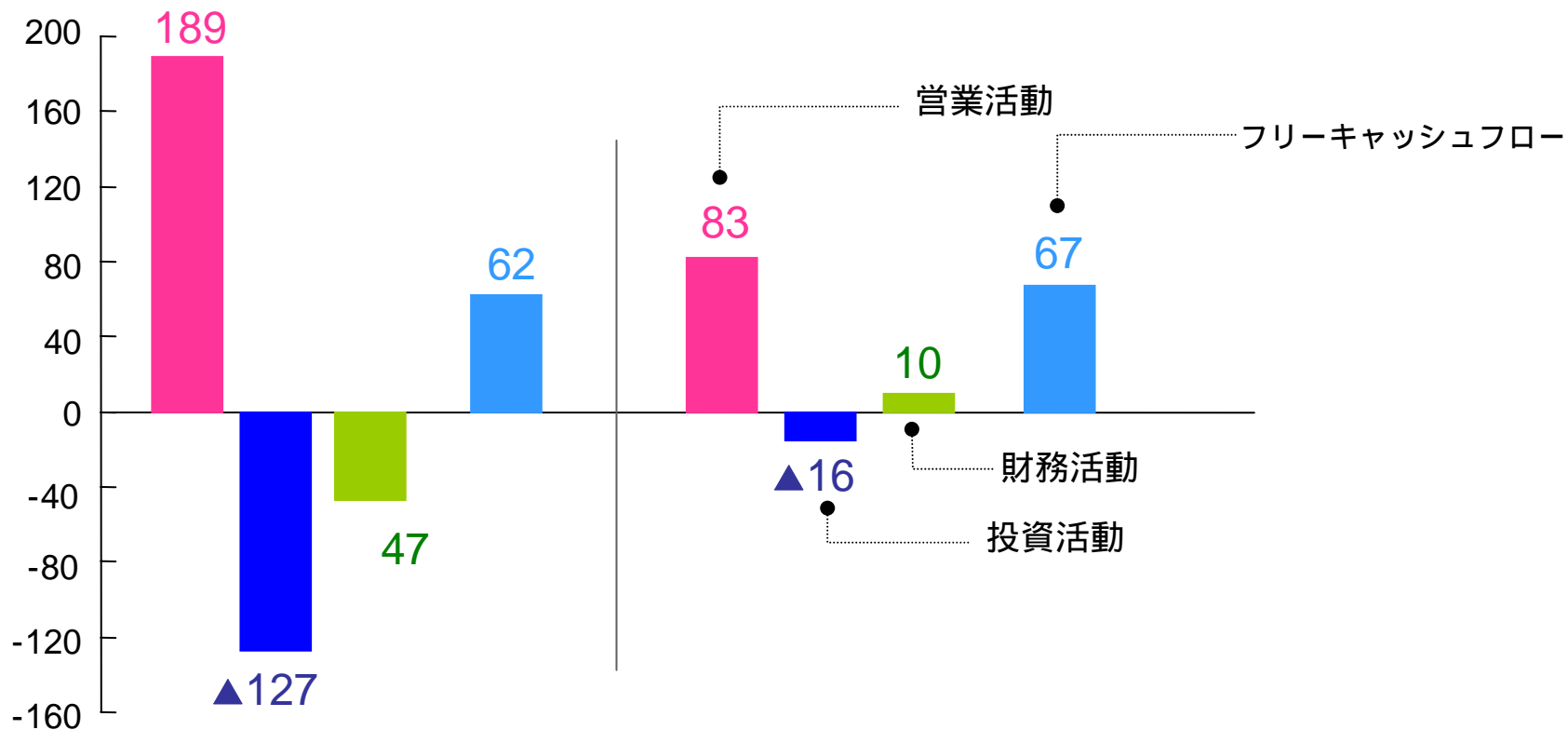


■ 自己資本比率

	2010 / 3	2011 / 3
自己資本比率	76.8%	71.9%

キャッシュフロー

(億円)



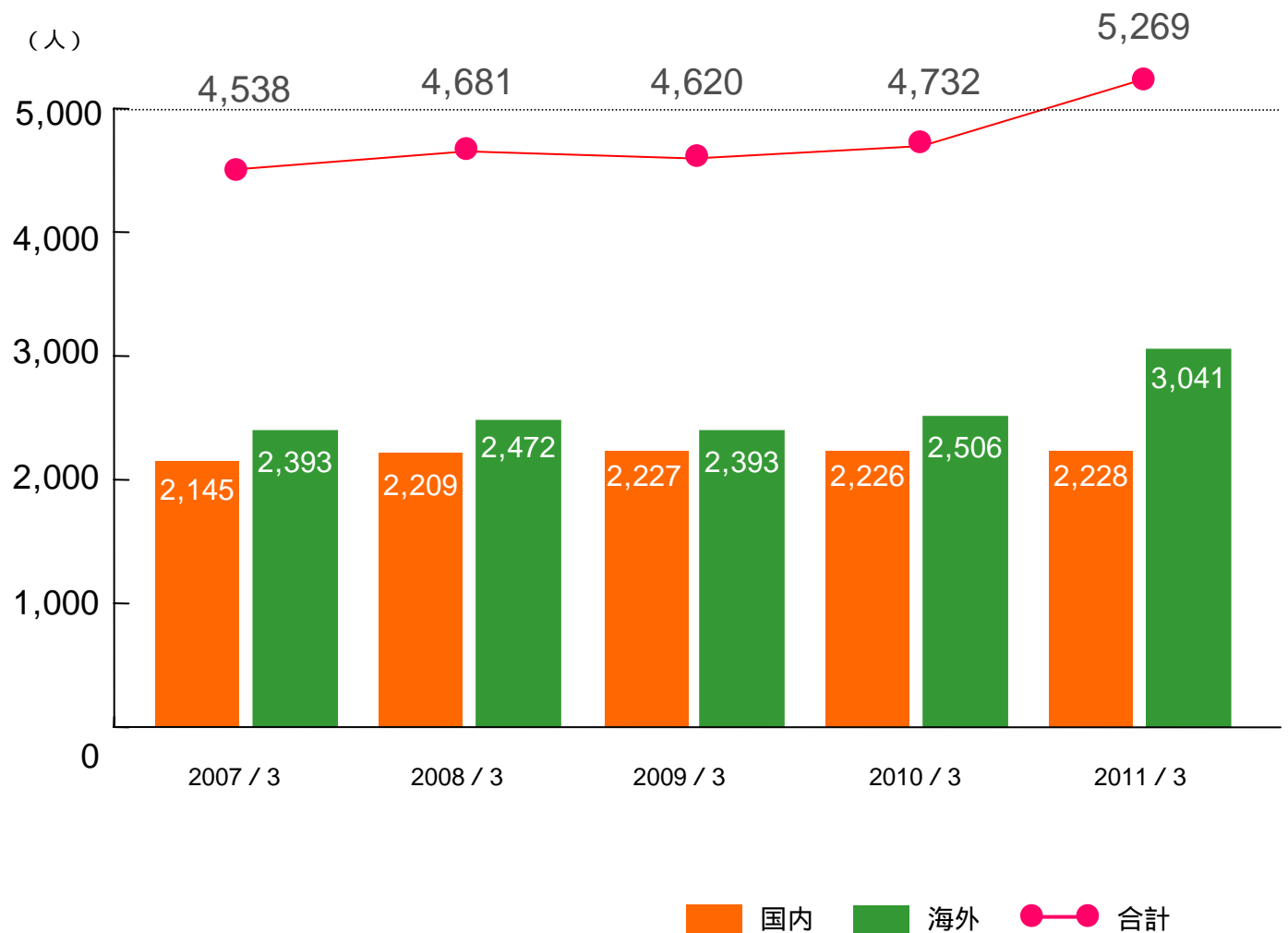
2010年3月期

期首現金残高	273
期末現金残高	285

2011年3月期

期首現金残高	285
期末現金残高	349

人員数



T O P I C S

2011年3月期

第4四半期 ~





次世代半導体プロセスの開発に向け、 量産試作機を搬入

ウシオは、デバイスをはじめマスクやレジストなど半導体製造に関わる多くの企業が参画する欧州の独立研究機関「IMEC」に、DPP方式の量産試作機用EUV光源を搬入しました。

この量産試作機用EUV光源は、露光機に接続後わずか1ヶ月間で稼働率が60%に達する性能が確認されており、IMECにおいて、プロセス開発に貢献することが期待されています。

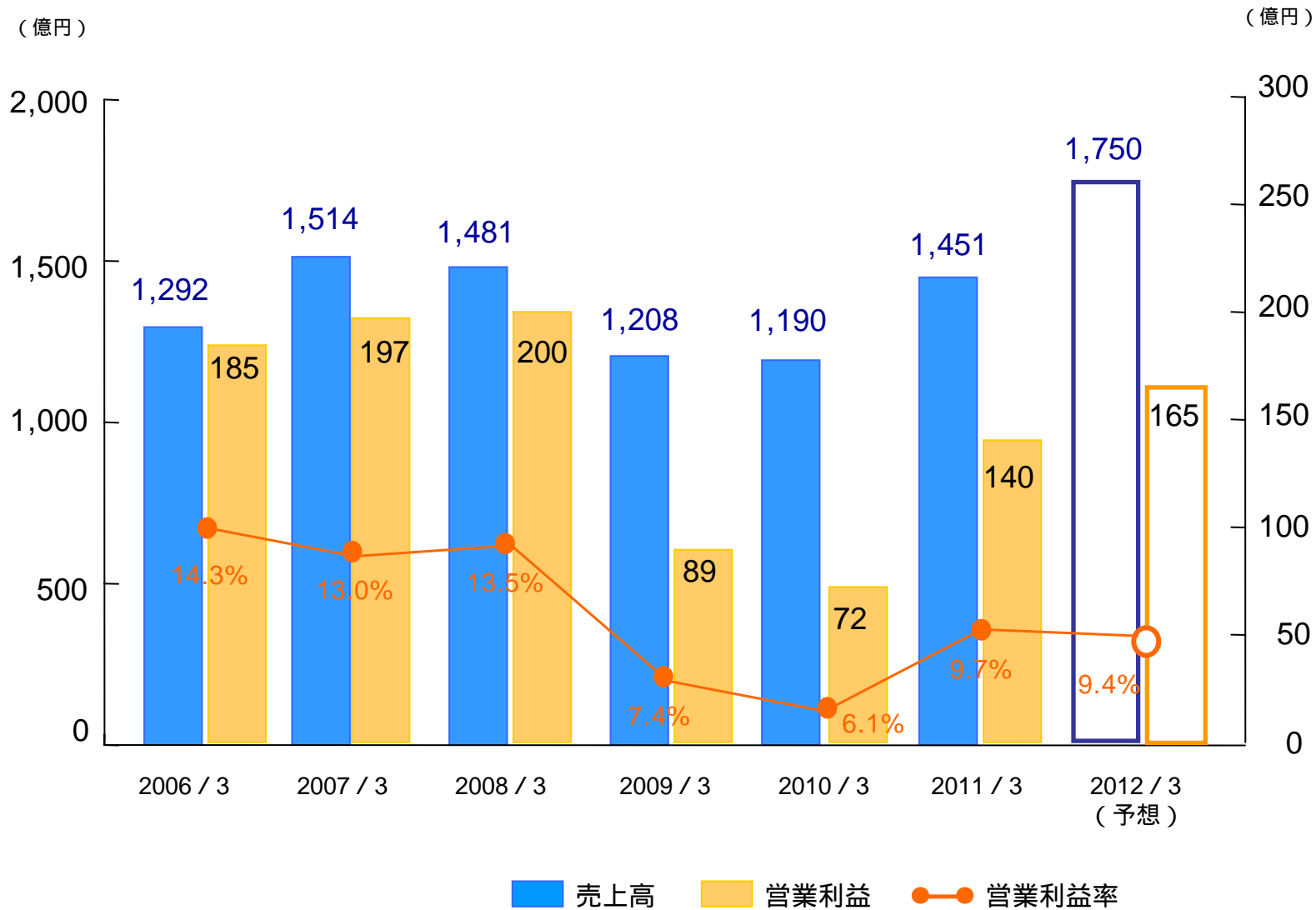
研究開発投資をDPP方式に集約し EUV光源の量産化加速へ。



ウシオは、持分法適用関連会社であるギガフォトン株式会社の保有株式全てを、株式会社小松製作所（コマツ）に譲渡することを決定いたしました。

ウシオ / XTREMEはDPP（放電）方式によるEUVを、コマツ / ギガフォトン はLPP（レーザ）方式のEUV開発を推進しており、EUVの実用化が展望されつつある中で、両社が競合関係となる要素が高まってきたため、両社のそれぞれの発展を図る目的で、持分株式の譲渡を決定したものです。

通期業績推移 2011年3月期



2011年5月公表

定量目標（2014年3月期）

営業利益： **275億円**（11 / 3月期 140億円）

ROE： **10%以上**（11 / 3月期 6.2%）

< 参考 > 売上高2,100億円（11 / 3月期 1,451億円）

営業利益率13.1%（11 / 3月期 9.7%）

重点事業戦略

デジタルシネマ事業の着実な展開とノンシネマ事業の一層の拡大

最先端露光技術の開発強化と事業推進

固体光源事業の推進

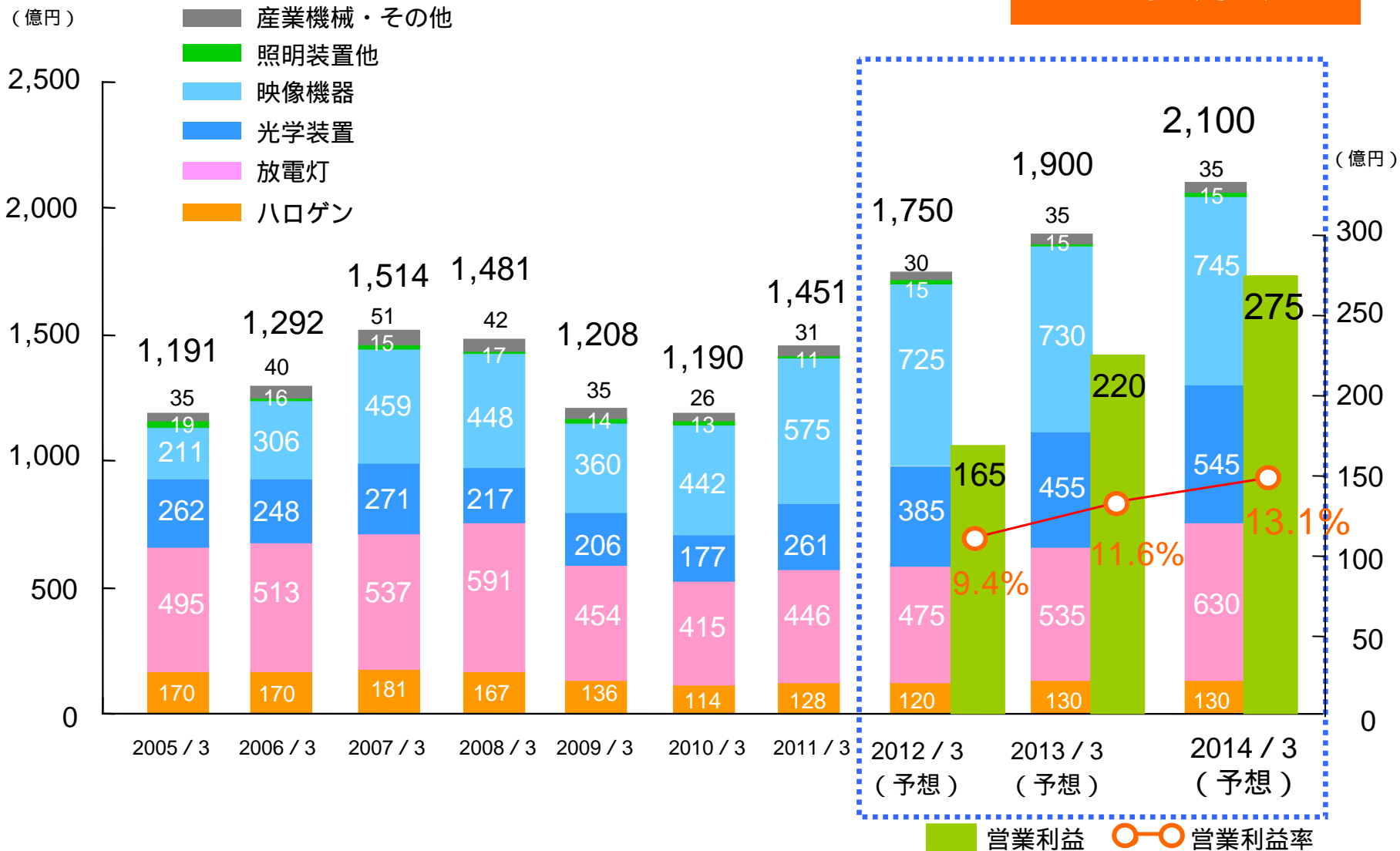
液晶・半導体・高精細プリント基板分野に貢献する技術・製品の提供

環境を念頭においた事業展開

業務提携・合併事業・M & Aの積極的推進

2011年公表【中期ビジョン】

製品別売上高推移



2011年5月公表

USHIO

Lighting—Edge Technologies

*本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをお含みおき下さい。